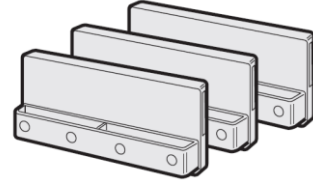


●プラズマクラスターイオン発生ユニットの交換

≧ ユニット 交換 ≦

●ユニット交換ランプが点滅したときは、プラズマクラスターイオン発生ユニットの交換が必要です。

プラズマクラスターイオン発生ユニット
形名：IZ-C75SB3 (3個入)



必ず同時に3個交換してください。

この商品は、安定して高濃度プラズマクラスターイオンを放出するために、定期的*にプラズマクラスターイオン発生ユニットの交換が必要です。

総運転時間約17,500時間(1日24時間連続使用して運転した場合、約2年)経過すると、本体表示部ユニット交換ランプが点滅し、交換時期をお知らせします。

約19,000時間(約2年2カ月)経過すると、プラズマクラスターイオン発生ユニットの運転が停止し、本体表示部のユニット交換ランプが速い点滅をします。

(送風機構は停止しません。空気清浄機としては継続してご使用いただけます)

*どの運転モードで運転しても、ユニットの交換時期は同じです。

- 交換後、組み立てを行なうときは、ネジを元通りに締め付けてください。
また、リード線のかみこみが無いか、コネクタ挿入が確実か確認してください。
- 組立後は、動作確認をおこない、振動・運転音等の異常がないか確認してください。
- 交換した古いプラズマクラスターイオン発生ユニットは燃えないゴミとして廃棄してください。
(廃棄物の分別ルールがある地域においては、そのルールに従ってください。)

交換のしかた

警告：修理・分解する前に、差込プラグをコンセントから抜くこと(感電の恐れあり)。

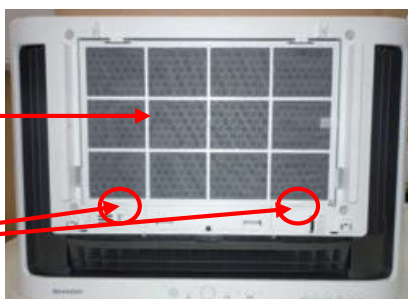
1. 本体を壁から取りはずす。(壁かけで使用している場合)
2. フロントパネルを取りはずす。
 - 1) フロントパネルの下部を持ち、矢印方向に回転させた後、上部に持ちあげて取り外す。



3. プレフィルター、脱臭フィルター、集じんフィルターを取りはずす。
 - 1) プレフィルターを取り外し(ツメ2か所)、脱臭フィルター、集じんフィルターを取りはずす。

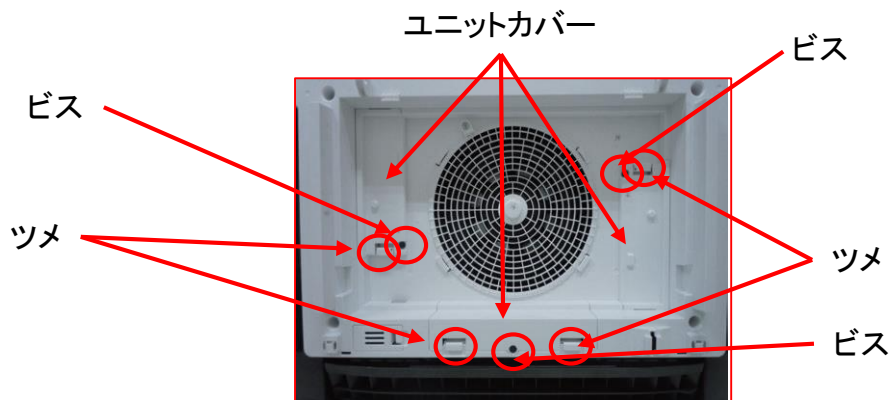
プレフィルター
脱臭フィルター
集じんフィルター

ツメ(2ヶ所)

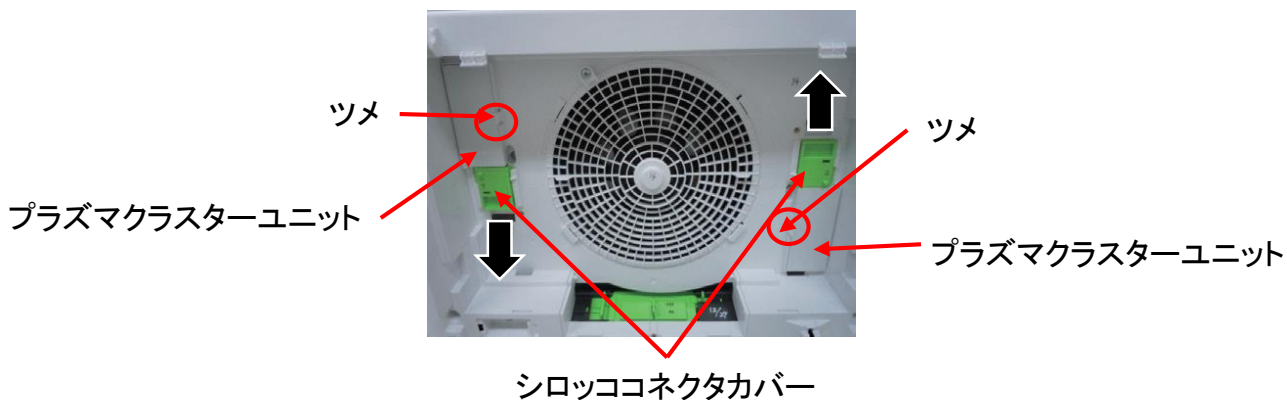


4. プラズマクラスターユニットを取り外す。

- 1) 左右部のユニットカバー× 2 を取り外す。(ビス各1箇所、ツメ各1箇所)
- 2) 下部のユニットカバーを取り外す。(ビス1箇所、ツメ2箇所)



- 3) シロッココネクタカバー× 2 をスライドさせ、左右のプラズマクラスターユニット× 2 を取り外す。(ツメ各1箇所)



- 4) クロスコネクタカバー、スライドフックを矢印の方向にスライドさせ、プラズマクラスターユニットをユニットホルダーから取り外す。



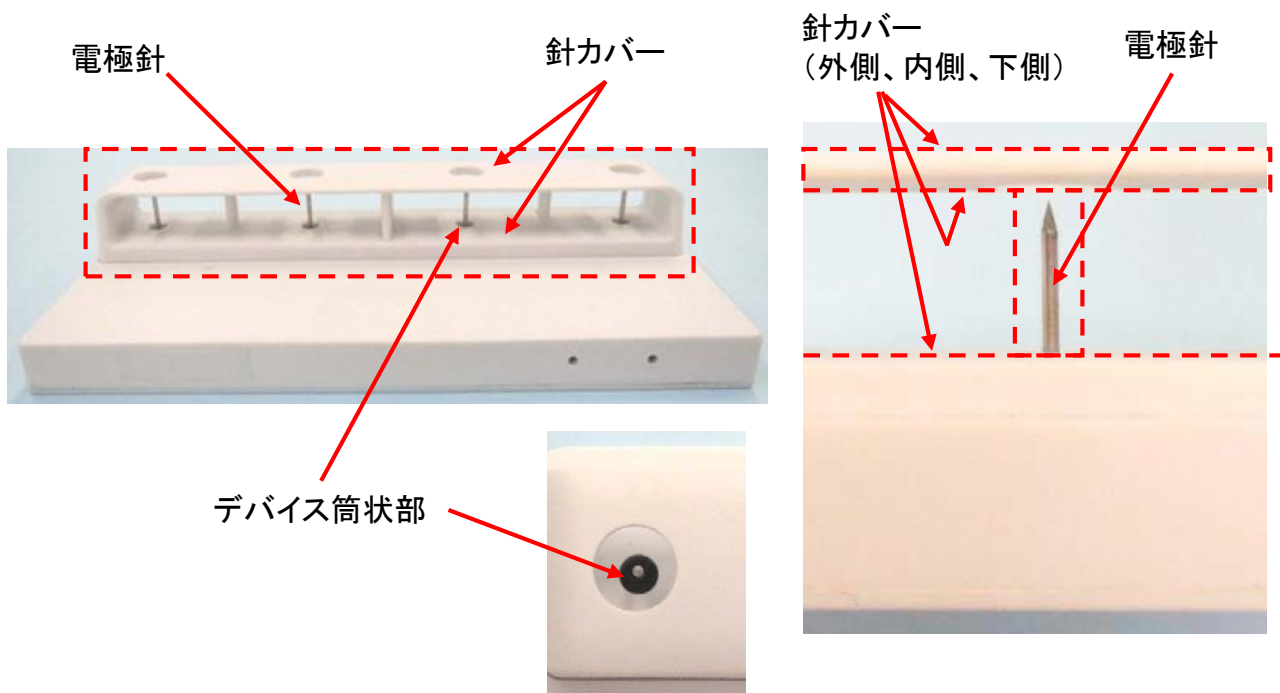
●プラズマクラスターイオン発生ユニット (針電極を含む電極部周辺)の清掃

お手入れ実施の目安 : 6ヶ月に1回

※ユニットお手入れランプが点滅した
時も清掃を行ってください。

・清掃箇所

電極針および周囲(針カバー、デバイス筒状部)の清掃を行ってください。



注意事項

- 電極針を素手で触らない。(ケガのおそれ)
- 電極針を変形させないようにする。(故障の原因)
- 接続端子には触れない。(故障の原因)

準備するもの

- 市販のベビー用綿棒
(清掃を確実かつ容易にするため、細軸タイプのベビー用綿棒が望ましい)
- アルコール(エタノール)
- 清掃ブラシ

綿棒(一般)

推奨)ベビー綿棒



● プラズマクラスターイオン発生ユニットの清掃

1) 電極針および電極針カバーの清掃

電極針(4本全て)と電極針カバーに付着しているホコリ等の異物を、アルコール(エタノール)を染み込ませた市販の綿棒を使用して取り除いてください。

綿棒に汚れが付かないようになるまで、しっかりと清掃を行ってください。

※ 水産加工工場など、空気中に塩分が含まれる環境で使用されている場合は、上記アルコールでの清掃の前に、水(水道水で可)で湿らせた市販の綿棒を用いて清掃を行ってください。その後、上記アルコールを染み込ませた綿棒での清掃を行ってください。
(塩はアルコールに溶けないため、事前に必ず水での清掃を行ってください)

電極針先端

先端部は特に変形しないように注意する



電極針カバー外



電極針側面(針先周辺)



電極針カバー内側



電極針側面



電極針カバー下側



2) デバイス筒状部の清掃

デバイス筒状部(4箇所全て)に清掃ブラシを挿し込み、3周程度回転させて、ホコリや異物を取り除いてください。



(参考)清掃前後デバイス



アルコールを
染み込ませた
綿棒で清掃



アルコールを
染み込ませた
綿棒で清掃



● クロスフローファンの清掃

- ・必要に応じ、実施をお勧めします。
- ・点検ランプが点滅した時も実施が必要な場合があります。

次の「分解のしかた1」、または「分解のしかた2」に従って、本体を分解し、クロスフローファンを清掃する。（「分解のしかた1」を推奨）

・分解のしかた1

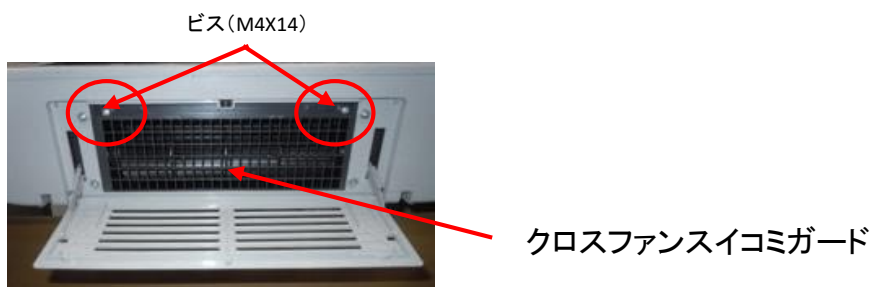
1. 本体を壁から取りはずす。（壁かけで使用している場合）
2. フィルターカバーを開ける。



3. プレフィルター（下）を取りだし、フィルターカバーからステー×2を外す。



4. クロスファンスイコミガードを外す。（ビス2箇所）



5. クロスフローファンを掃除する。
クロスフローファンは強い力をかけると、破損する恐れがあるので、取扱には十分注意すること。



・分解のしかた2

1. 本体を壁から取りはずす。(壁かけで使用している場合)
2. フロントパネルを取り外す。
プラズマクラスターユニット(下)を取り外す。(第1章[10]参照)
3. ジグカバーL/R(ツメ各1箇所)を取り外し、クロスルーバーを取り外す。



ツメ



クロスルーバ



4. クロスフキダシガードを外す。(ビス2箇所)

ビス(M4x14)



5. クロスフローファンを掃除する。

クロスフローファンは強い力をかけると、破損する恐れがあるので、取扱には十分注意すること。



クロスフローファン

●本体外観の清掃

・汚れがひどい場合は、水、またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた布でふく。



柔らかい布で汚れを
ふき取る